

# 2025 年度事業計画

## I 施設の設置・運営事業 《公益目的事業》

WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営。

☆ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 (厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

☆ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 (厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付)

※WAC(ウエルイジングコミュニティ)事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

### ① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC第1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・施設運営やイベント運営を通して、入居者および地域住民の健康増進に貢献する。
- ・地域会員数の底上げに注力し、「大人専用のプール(透明度の訴求)」「充実したスタジオレッスン」「種類豊富なマシンラインアップ」等を軸にホームページ等WEB媒体、折込チラシ、ポスティングを強化する。
- ・地域の方々の健康増進を視野に入れ、イベント等の情報提供を実施する。地元住民への認知度向上に努める。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC第1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・施設運営やイベント運営を通して、入居者および地域住民の健康増進に貢献する。
- ・フィットネス会員獲得に注力し、プール・無料卓球エリア、リラクゼーションエリア等、充実した施設であることの宣伝を強化する。
- ・地域の方々の健康増進を視野に入れ、イベント等の情報提供を実施する。

### ② 診療所

「ニッセイ聖隷クリニック」(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC第1号施設付置診療所)

地域社会との連携・交流

- ・聖隷ホスピスを参考にし、患者の苦痛・不安を取り除き、多職種連携により生活全面をサポートできる体制を再構築する。
- ・生活療養入院が多く、医療処置の機会が少ないため、高齢者に多い医療処置をいつでも提供できる体制を整備する。
- ・事例を交えて、身体拘束・高齢者虐待について、定期的に考える機会を設定。感染対策では、平時から感染対応の見直しを行い、感染症発生時における感染拡大防止体制を構築する。

- ・精神科を標榜し、患者数の確保と通院・在宅精神療法の算定を目指す。また、带状疱疹ワクチン定期接種を開始する。
- ・居宅支援事業所や地域包括支援センターと密な連携を行い、地域住民の支援に積極的に協力していく。

「松戸ニッセイ聖隷クリニック」（ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第 1 号施設付置診療所）

地域社会との連携・交流

- ・看取り、ターミナルケアの質向上に努める。
- ・外来・入院診療での感染対策の実践した安心・安全な医療サービスを提供する。
- ・外部病院からの転院、レスパイト入院等の受入れ体制を構築する。新型コロナワクチン定期接種、インフルエンザワクチン接種、肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチンの接種を継続的に周知を徹底し、接種人数を増やす。
- ・松戸市休日当番としての協力。人工呼吸器装着者に対する非常用電源供給の協力。

### ③ 高齢者総合福祉センター

「ふれあいプラザ」（ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第 2 号施設）

地域社会との連携・交流

- ・エンパシーを意識し、幸福度を高める質の高いサービスの提供と地域のニーズに見合った公益的な取り組みを実施する。地域住民に情報紙を手配りで配布し、ふれあいプラザの認知度を高める。
- ・子供食堂の運営を支えるアルミ缶回収や、年 1 回開催のふれあいの集いにブース参加し、福祉関係のノウハウを地域に伝達する。

「ニッセイ松戸アカデミー」（ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第 2 号施設）

地域社会との連携・交流

- ・楽しく魅力ある教室やイベントの運営を通して、入居者および地域住民の生きがいづくりや仲間づくり、地域のまちづくりに貢献する。
- ・教室：体験教室やキャンペーンの実施、広告によるアピール等を通して、会員増を図る。
- ・イベント：様々な音楽ジャンルのコンサートや、ニッセイグループとの共催イベント等、バリエーション豊富なイベントを開催

### ④ 在宅介護サービスセンター

「ニッセイせいい在宅介護サービスセンターヘル西大和店」

(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 3 号施設)

地域社会との連携・交流

- ・利用者一人一人の関わりから気付きを大切に住み慣れた場所での生活を守る。
- ・最高の技術と知識を提供できるような教育の充実を図る。
- ・利用者を尊重し、様々な気づきから快適な生活を支援する。
- ・人材不足を補えるよう ICT 促進に取り組み業務の効率化を進める。
- ・地域の課題に対応するため、他事業所との連携を深め解決できる事業所を目指す。

「ニッセイエデン ヘルパーステーション」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 3号施設)

地域社会との連携・交流

- ・デジタル化を継続し、業務改善することで、効率よく質の高いサービスを提供する。
- ・介護過程をしっかり回し、信頼される事業所を目指す。
- ・タイムリーな情報共有により、状態に合わせたケアを提供する。
- ・認知症・看取りケア等身体介助に特化したサービスの提供を目指す。
- ・地域包括支援センターとの連携に努め、地域ケア会議等への積極的な参加をしていく。

## ⑤ 有料老人ホーム

「奈良ニッセイエデンの園」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第4号施設)

地域社会との連携・交流

- ・パーソン・センタード・ケアの実践とエデン包括ケアシステム「誰一人取り残さない、その人らしく最期まで支える体制」を推進する。
- ・入居率 100%を目指した募集活動への各職場間の横断的な取り組みを強化する。
- ・複合施設の強みを発揮できる職員の育成・職場間の交換研修を実施する。
- ・クリニックとの連携により潜在的な特定高齢者へのアプローチ力を強化し、積極的介護予防の展開・推進する。組織方針の浸透・必要な環境整備による虐待防止への取り組みを実施する。
- ・WAC 施設としての地域支援事業への継続的な参画(シェアサイクル・こども 110 番の家)、災害時の協力体制を構築する。

「松戸ニッセイエデンの園」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第4号施設)

地域社会との連携・交流

- ・一人ひとりを尊重し、「ここを選んでよかった」と思ってもらえるような施設づくりを目指す。
- ・防犯セキュリティについて、関東にて高齢者を狙った強盗事件が相次いでいることもあり、入館管理等、より安心していただける体制を構築
- ・競合施設が増加しており、入居希望者や就職希望者および職員に正しい情報が伝わるように内外への情報発信を強化
- ・購入・在庫管理ルールを整備し、欠品・余剰を無くすことで、管理にかかる負荷を軽減し、適正な購入・在庫管理体制を構築
- ・光熱費、人件費、食材費等の諸物価の高騰への対応
- ・松戸市との避難所契約継続、地域清掃活動、フードバンク協力

## II 調査研究事業 《 公益目的事業 》

(1)WAC 事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

1.WAC 事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施。

- テーマ：「60代～70代の多様な働き方に関するアンケート調査を踏まえた考察」について

・人手不足が深刻化する中で、定年後の働き方は多様化しているが、どのような働き方が生きがいの向上に結びつくのか、定年前後期でのどのような考え方や行動が、定年後の生きがいある就労獲得に繋がっているのか。さらに、自立型高齢者施設入居者も社会的役割を持つことで生き甲斐は向上するのか、向上するとすれば、どのような社会的役割の持ち方や、施設としてのサポートが考えられるのかを明らかにし、定年後の生きがいある就労モデルの提示および社会的役割をもつ新たな入居者モデルを提言する。

2. 聖隷福祉事業団・日本老人福祉財団と共催する「有料老人ホーム実践研究発表会」にて、各施設の研究成果を通じて情報共有を行い、入居者に満足いただける施設運営を模索する。

## (2)地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

1. 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへ参加する。
2. 11月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続する。
3. 2025年度以降の新たな取り組みとして、次世代を担う全国のこどもたちに、疑似体験グッズや車椅子などを用いて「高齢者」や「認知症」について学ぶ『体験型授業』のコンテンツを提供する。

## Ⅲ 奨学金助成事業 《 公益目的事業 》

介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を目指す学生に奨学金を支給。

(新規募集 55 名、継続 25 名、合計 80 名程度、1 名当たり年間 24 万円を支給)

「介護人材不足」解決の一助となるよう、日本語学校に通う外国人留学生で、かつ介護福祉士を目指す学生に対して、介護福祉士養成施設への入学金相当額のサポートを継続。

(新規募集 10 名、1 名当たり一律 20 万円を支給)

## Ⅳ 施設の設置・運営事業 《収益事業等 その他事業 1》

個々人の健康状態及び体力に合わせた適切な指導のもとで、運動、機能訓練を行うための施設を設置、運営し、健康維持、疾病予防に資するための事業のうち、60歳未満の利用者を対象とするもの。

### ① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・施設運営やイベント運営を通して、入居者および地域住民の健康増進に貢献する。
- ・地域会員数の底上げに注力し、「大人専用のプール(透明度の訴求)」「充実したスタジオレッスン」「種類豊富なマシンラインアップ」等を軸にホームページ等 WEB 媒体、折込チラシ、ポスティングを強化する。
- ・地域の方々の健康増進を視野に入れ、イベント等の情報提供を実施する。地元住民への認知度向上に努める。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・施設運営やイベント運営を通して、入居者および地域住民の健康増進に貢献する。
- ・フィットネス会員獲得に注力し、プール・無料卓球エリア・セントラル鍼灸治療院併設、リラクゼーションエリア等、充実した施設であることの宣伝を強化する。
- ・地域の方々の健康増進を視野に入れ、イベント等の情報提供を実施する。

## V 施設の設置・運営事業 《収益事業等 その他事業2》

公益目的事業における介護を必要とする高齢者の家庭生活支援を目的とした施設（在宅介護サービスセンター）のサテライト拠点、また当該施設と関連・連携する医療、介護等各種施設の設置及びこれらの事業。

### ① 介護老人保健施設

「奈良ベテルホーム」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 併設施設)

1. 地域社会との連携・交流

- ・利用者・家族目線になって最善とは何かを考え、専門性を活かしたケア、看護を実践する。
- ・河合町や社協と連携し、地域支援事業へ参画とボランティア活動を継続する。

2. 多職種協働のドーナツ型老健職員の育成に取り組み、基礎知識の習得、実践を行うことで、人材育成・活用・定着を強化する。

3. 見守りシステムの運用精度を向上させる。

4. 慣例的な業務の見直しを行い、介護サービスの質の向上、業務量の削減、身体的・精神的負荷の軽減に取り組み「生産性の向上」に取り組む。

5. 全職員が強化型老健及び各種加算の要件を理解し、算定維持と新規加算の取得に取り組む

### ② 訪問看護ステーション

「訪問看護ステーション西大和」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 併設施設)

地域社会との連携・交流.

- ・小児分野の開拓、医療依存性の高いケアの獲得を目指し、地域病院、開業医との連携を強化する。
- ・各種研修に参加し専門性を高め、リスクを回避した医療行為を実践する。

### ③ ケアプランセンター

「ニッセイせいいいケアプランセンター西大和」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 併設施設)

地域社会との連携・交流

- ・利用者の望む暮らしに寄り添えるよう、介護・医療・地域資源を活用し、ケアマネの役割を發揮した支援を継続する。
- ・地域住民の相談窓口となり得るよう、クリニック物忘れ外来及び保険者や包括支援センターとの連携強化を図る。